

# 小原議員の 質疑&応答(抜粋)

## ① 庁内電話回線の合理化について

【質問】 小原議員

市役所の電話、外部へはゼロ発信で自動だが、受信の場合は 0011 で交換手が対応している。これだけの回線があるのに 0011 だけで受けておれば、対応する二名の交換手の負荷は大きすぎる。ダイヤルインかその他のよいシステムを整備するべきである。

【答弁】 総務部長

市役所の部署ごとに直通電話を割り振るダイヤルインを採用した場合、利点もあるが一方、きめ細かい対応ができない場合も想定される。効率的で効果的なシステム導入を今後調査研究する。

## ② 市内の空き家対策について

【質問】 小原議員

日本中で空き家が千万戸位ある。利用可能な空き家を潰すはもったいない。活用すべきである。市内の人口を増やすために、新規移住者への家賃補助も考えてはどうか。

本市にある府営住宅、公団住宅、リフォームした戸建ての空き家を有効にして、市外に居住している当市の職員に転居して貰えば、

市税も入るし、郷土愛も生まれ、職員の防災・ボランティア活動も盛んになる。幸い当市に、最近では若い職員の方が多い。子育ても含めて、安心して住める市を築くための手立てとなるはず。

【答弁】 政策調整室長

空き家対策については、市総合戦略において、民間企業を活用した空き家の利活用相談の取り組みを掲げ、今後具体的な方策を検討することとしている。空き家の利活用を促進する方策を検討する中での課題の一つとして捉まえていきたい。

## ③ 高野線狭山駅前再開発について

【質問】 小原議員

狭山駅前にはお店が無く不便だと、高齢者から、相談も受ける。本市はここ十年ほど、まちづくりに関連する施策を実施して来ている。ない。

ところで、狭山駅前に「松本ビル」がやっと完成したが、駅のエレベーターからおりてきた所に空き家が二軒ある。市の玄関口なので、整理が必要だと考える。個人の所有権の問題があるが、行政が絡まないと進まない。一方、線路沿い南方向の道路に二カ所狭い場所がある。南から消防車が入れないので火災が発生すれば付近は全焼するとの指摘を受けた。

駅前前の整理とともに、狭い箇所の改善方をお願いしたい。

【答弁】 都市整備部長

狭山駅前周辺の道路整備は地権者と整合

が図れば、随時道路の拡幅について検討していく。

【意見】 小原議員

積極的に行うとの行政の姿勢を見せていただいて、住民もそれに協力していくという体制が必要。

## ④ 市内の空き家をリフォームして訪日客用の民泊を

【質問】 小原議員

この二月二十七日、狭山駅築造一四〇〇年記念事業もあり、今後、ますます狭山池を中心として情報発信していく機会が増える。二〇一五年の訪日の外国人指数は一九七三万人で、日本は観光立国をめざしているが、本市には宿泊施設が無い。古いマンションや利用可能な空き家を宿泊施設に改造すれば、国内外の旅行者を迎えることも可能だ。具体的な対応策が出来る筈。

【答弁】 政策調整室長

本市の立地は難波まで電車で三十分以内であり、関西空港からのリムジンバスが金剛駅から発着しているなど、外国人が本市に滞在する可能性を秘めている。一方、大阪府による国家戦略特別区で民泊の実施を認めるとのことだが、慎重に見きわめていく。

【意見】 小原議員

慎重さは必要だが、今はチャンスだ。本市には利用出来るような建物もある。

